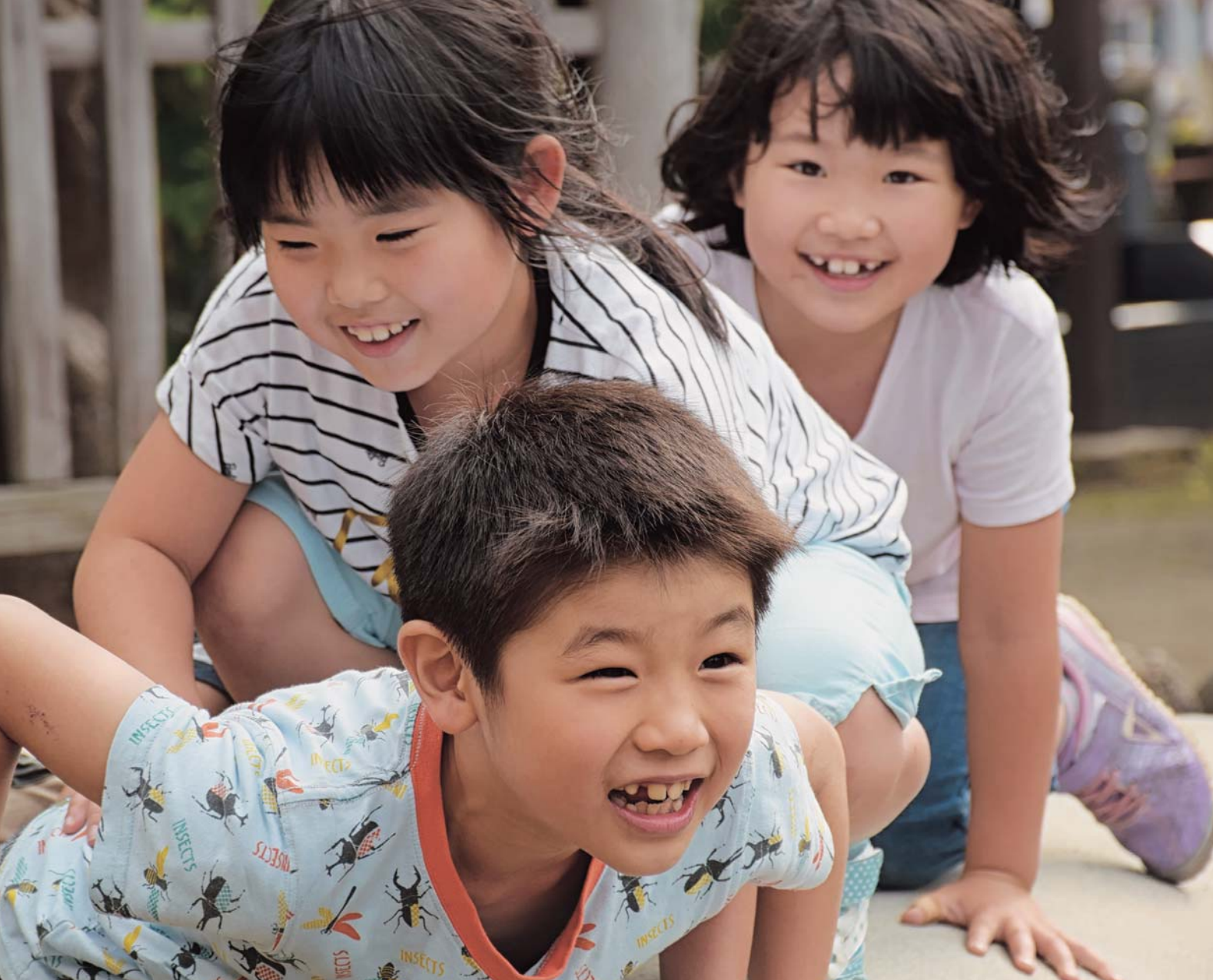




学校帰りの楽しい児童館（P12に関連記事）

＊ おおいだ 議会だより

No. 153

2017. 7. 25

山形県大石田町ホームページ
http://www.town.oishida.yamagata.jp



携帯・スマホから
アクセス！

◆第2回定例会
(6月2日～7日)

◆第2回臨時会
(5月10日)

◆第3回臨時会
(6月16日)

あったまりランド赤字に！ 2

メガソーラーは？ 4議員が一般質問 4

追跡！冬の通学路の安全確保 11

町の起業家 左官職人 12

発行 山形県大石田町議会

発行／山形県大石田町議会

発行責任者／議長 芳賀 清

編集／広報常任委員会・〒999-4112 大石田町緑町二番地

☎0237-352111

◆印刷 (有)印刷文化堂

町の起業家 Vol.4

新山寺地区 青木 則夫 さん



大石田町新山寺生まれ(47歳)

妻・子(中2)・父・母の5人家族

大石田町大字田沢1910番地

E-mail : ta.116p@outlook.jp

あなたのお仕事は？
おもに住宅の左官工事、
タイル工事です。

起業したきっかけは？
自分の仕事に自信が
出てきたので、一人でや
ってみようと思いました。

大変なことは？
大きい会社では同じ仕
事でも会社の信頼でクレ
ームがなかったが、起業
した頃は、仕事のレベル
が高く求められたこと
です。



青木工業

左官・タイル・ブロック工事

Tel・Fax 0237-35-4015

携帯 090-7061-7540

今後の抱負は？
立派な職人になるよう
な、若い人を育てて行
きたいです。

町に望むこと

仕事柄、山形市や天童
市へ行くことが多いの
ですが、大石田町から来た
という、仕事上手だ
と最初から思われていま
す。もっと職人の町とし
てアピールしてほしいで
す。

議員よりコメント

「職人の町・大石田」と
言えば知る人ぞ知る、
永年築きあげた大石田
のブランドである。
町の職人さんも高齢
化が進み、後継ぎも少
なくなる現状だが、青
木さんのような方が起
業するのはうれしい思
いだ。
当町としても職人さ
んが仕事をしやすい環
境づくりをしていく必
要があるのではないか。

【記 村形】

表紙の写真

ふたば児童クラブ
「遊心館」。大石田
小学校に隣接した社
会福祉法人ふたば保
育園の施設。
毎日、多くの児童
が学校帰りに利用し
楽しい時間をすごし
ています。
この日もランドセ
ルを置いて、外で元
気いっぱい遊んでい
ました。

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は

9月5日(火)～15日(金)の予定です。

お気軽においでください。(議場は役場3階です)

お問い合わせ先

大石田町議会事務局
電話 35-2111(内線312) FAX 35-2118

■広報常任委員会
委員長 村形昌一
副委員長 村岡藤弥
委員 岡崎英和
委員 小玉勇
委員 遠藤宏司

人口動態調査によれば、
日本全体で前年から30万
人が減少したという。当
町においては約150人
減っている。そして限界
集落が1地区発生し、超
少子高齢化が加速してい
る。
人口減少も一つの要因
となっているのか、地域
振興公社(あったまりラ
ンド)事業が初めて赤字
決算となった。
マイナスイメージが多
い中、いよいよ「虹のプ
ラザ」が華々しくオーブ
ンする。町内外の人から
より多く利用していただ
き、常時にぎわいの空間
であってほしいものだ。
【記 村岡】

編集後記

あったまりランド オープン 以来初の赤字！ どう解消する？

(株)地域振興公社事業報告

村形 昌一 議員

当 期140万円の赤字となったが、今期の目標、見込は、

副町長 総売り上げで2億9000万円を目標。虹の館の改修により一時的に宿泊施設が使用できず減収を踏まえての設定だが、非常に高い目標を立てている。

岡崎 英和 議員

ハード部分をいくら良くしても接客力を上げなければ、

副町長 今年度、経営コンサルタントの指導を受けながらしっかりとしていきたい。

関 幸悦 議員

駅 構内に温泉館の看板設置の考えはないか。

副町長 JRとの協議も必要で、これから考えていきたい。

齋藤 公一 議員

入 浴客の落ち込みは値上げに問題がある。元に戻せないか。

副町長 入浴料が据え置きで近隣公共温泉は、基点温泉を除き前期を下回っている。複合的な理由で10%減となったが、料金を戻すことは考えていない。

1 00枚券の値上げ率が低いと聞くが、

副町長 通常400円が320円で利用できると考えてもらいたい。

遠藤 宏司 議員

赤 字経営の立て直し方策は、

副町長 経営コンサルタントの指導を受け経営改善をしたい。

町 財政に負担をかける経営を、

町長 赤字にならないように社長と従業員一丸となってがんばってもらおう。

航空レーザー測量

村岡 藤弥 議員

民 有林の航空レーザー測量は、100%交付税措置となるよう働きかけを。

町長 そのように進めたい。

次年度水源地

小玉 勇 議員

水 源地確保として8000m購入するが、それで十分か。

町長 足りないという意見があれば、今後検討したい。

最上川ふれあいセンター

大山 二郎 議員

川 前、最上川ふれあいセンターの劣化した窓ガラスの改修策は、教育長 場所が場所だけに経費も掛かる。業者と検討しているが結論が出ない状況だ。

交流センター

大山 二郎 議員

完 成後の返済計画を説明してもらいたい。

町長 町政懇話会、区長会その他広報でしている。

A ED、ネットランチャーは、

まちづくり推進課長 AEDは整備しているが、ネットランチャーは今後必要性を吟味し対応したい。

桂桜公園整備

村形 昌一 議員

元 の状態に戻すよう県から指導されているが、町独自の考えを言うべきではないか。

まちづくり推進課長 トイレに関しては県と協議し設置を取りやめたが、遊具については機能的なものは保持しなければならないので必要と考える。

虹の館改修工事

村岡 藤弥 議員

今 回の改修工事に経営コンサルタントの意見は聞けないのか。

副町長 経営コンサルタントの力を借り、虹の館を集客につながる改修にしたい。

小玉 勇 議員

シ ングルルームを造るが料金はどうか。

まちづくり推進課長 割安感に設定したい。

一般会計【賛成多数】 (反対/村形議員)

遠藤 宏司 議員

リ ニューアルに値する利用客の見込みを検討したのか。

副町長 改修により何百人増えると断言できない。しかしこれまで予約の際「ベットの部屋、洋室はあるか」と聞かれた場合、その時点で断られたが、そういうお客様を引き止めることはできる。

降雹被害

村形 昌一 議員

被 害にあった農家に「あたたかい町政」ではないか。

町長 現状を把握するため日程を調整し、話を聞きに行く。



早速の状況確認(6/8新山寺地区)

来てけろにゃ～





限界集落の状況は

村形 昌一 議員

当町でも 1 地区発生した

町 長



高齢化が進む町中心部(大石田地区)

集落の高齢化
10年前は4地区、5年前は21地区が準限界集落(55歳以上人口比50%以上)だった。現在の状況はどうか。
町長 本年は29地区となり全地区に占める割合は69%。また、限界集落(同65歳以上)が1地区だ。単身高齢者の状況は。町長 平成17年で120世帯、22年で159、本年は228で町の全世帯の1割を占める。

民生委員の負担が増していないか。
町長 話し合いの中で軽減を考える。
老人クラブの会員拡大は町長 難しいと考える。生涯現役の手立ては。町長 例えばシルバー人材センターの場合、発足当時の受注高は320万円だったものが昨年は7千万円となった。会員も150名と増え、さらに活躍してもらいたい。

地区行事の推奨

施策をどう進めるか。

町長 地域の活力が町全体の発展につながると考える。高齢化の進展は少なからず地域活動に影響を与えるが、どう地域を継承していくかが重要だと考える。

活性化を図るには。

町長 公民館活動の活性化や地方移住・田園回帰ふるさと回帰などがあり、こうした分野も視野に入れたまちづくりをしていく。地区対抗の各種大会は。教育長 競技人口が減っているからと考えるが、



試合後の呑みニケーションが大事(壮年ソフトボール)

大会運営について改めて検討する段階と考えている。
参加チームを増やすことはできないか。
教育長 努力したい。他の自治体では、ソフトボールやバレーボールで全地区参加の町がある。町職員が割り当てられた地区を担当しているが、そうした事はできないか。町長 職員配置は、強制的にできない。高齢化が進む中、地区民同士のつながりを図る施策を町を挙げて検討していただきたい。

町の考えを問う

4議員が一般質問



一般質問とは…

議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質すことをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では4議員が一般質問を行いました。

遠藤 宏司 議員

◆各種の町民負担を減らし、くらしやすい町を目指す考えはないか

7 ページ

岡崎 英和 議員

◆運動教育の環境整備を

8 ページ

村形 昌一 議員

◆集落の高齢化状況と高齢化率が高まる中、将来を見据えたまちづくりをどう進めるか
◆地区行事を推奨し、地域の活性化を図れ

5 ページ

小玉 勇 議員

◆太陽光発電施設の建設に対して様々な憶測がある
町民の不安にきちんとした説明をすべき

6 ページ



メガソーラー建設の不安に答えよ

小玉 勇 議員

計画概要を見て慎重に見守る

町長



山林に設置されるメガソーラー(イメージ)

町はどう考える

400haを超える山林を取得とあるが。

町長 1ha以上の土地取引は「土地売買届出」が必要で4月まで7回あった。まちづくり推進課が担当するが、利用目的・取引価格を県に届出し、県が適正化の勧告を行う。事業関係者の説明内容は町長 次年子地内に100メガワットの太陽光発電施設をつくる。経済産業省より太陽光発電事業者の認可を受けている。東北電力と接続契約をしているとの説明だ。

町は事業関係者にどんな質問をしたのか。

町長 ①次年子地区を選んだ理由
②町有地や農地の関係
③雪対策について
④実現の可能性
以上について尋ねているが、次年子を選んだ理由以外の明確な答えはまだない。
外国への土地の転売や伐採による土石流、ゴミ捨て場になる恐れは。
町長 国の認可業者であること、東北電力との協議を行っていることから太陽光発電以外の用途はないと思っている。

施工業者から現時点での事業説明は。
町長 町民を対象とした説明会を早急に行うように強く申し入れをしている。賛否の判断は賠償責任もからむのできちんとすべきではないか。

町長 業者側の充分な説明をもとに、地元や林業関係者、下流域の自治会、水利権関係者等から広く意見を聞き集約し判断したい。



事業関係者が議会と町へ説明(6/16)



町民の負担を減らし、くらしやすい町を

遠藤 宏司 議員

幸福を感じる町をつくりたい

町長

負担額の県内順位は

町民一人当たりの国民健康保険税は、県内で何番目か。

町長 前年比33%増で一人当たりの負担額は、12万7234円となる。前年、平成28年度の県内全体の保険税負担額の集計は、山形県国保連合会から本年9月に公表になる。正確な県内の順位はその時期に判明することになる。

町民一人当たりの介護保険料は、県内で何番目か。

町長 介護保険事業は現在第6期計画で運営されており、一人当たりの保険料は第5期と比較すると39%増で、月額6290円となり、高い方から4番目である。

各種の町民負担が重いことは「豪雪」と同様に、人口流出の要因になるのではないか。

町長 「大石田町に住みにくいと感ずる点は」というアンケートの問いに「雪が多い」が8割を超えており、町民全体が感じていると考えられる。



今年度の国保税はいくら?!

転出者の4割が18歳から25歳の年齢層で、就労や婚姻が理由と考える。人口流出を食い止めるため、くらしやすく、子育てしやすいまちづくりが課題になると思うが。

町長 「くらしやすいまちづくり」の具体的施策は、道路網や流雪溝の整備、社会インフラの整備を確実に進め、産業や観光の振興を通して町経済

の活性化を図る。

「子育てしやすいまちづくり」の施策としては、「出産祝い金」や「子育て医療の充実」、勤労世帯の就労支援のための「放課後児童クラブ」や児童センターの運営、延長保育や一時預かりの保育サービスの充実など、「子ども・子育て支援計画」に沿って、子育て環境の整備に努める。



他市町に負けない子育て支援を



中学校施設の再整備は

岡崎 英和 議員

大規模改修もあり得る

教育長



町のメイングラウンドなんだけど…凹

野球の内野部分

改修が必要なのは、教育長 造成当時と同質の土をストックし整備していく。状況次第では大規模な改修も視野に入れて検討していく。その後も恒常的な状態維持を考えなくてはならないのでは。町長 全くそのとおりだ。夜間に昭平橋を通行する際に照明灯の光が直接当たって危険だ。教育長 修正し改善した。

陸上の一部全天候整備

一部分の全天候型グラウンド整備が必要なのは、教育長 喉から手が出るほどほしいとは思いますが、高額な費用が掛かるため難しい。必要であれば環境が整った場所で練習するためにバスを出すことも含めて考えたい。町長 知らなかった。



雨天と冬に使用される中学校のピロティ

体育館

費用を徴収し暖房を使わせては。教育長 学校行事以外の暖房使用は想定していない。体育館下のピロティ等、土埃が舞い上がりやすい、散水栓を設置すべき。教育長 現状を確認し、検討したい。

条例を整備して一般向けに開放すべきでは。教育長 ピロティは一般開放できない。

次年子地区町道の拡幅整備を求める請願

◆請願者 大石田町次年子
区長 海藤 高好

◆紹介議員 大山 二郎

◆請願要旨 次年子地区の町道は幅が狭く、勾配がきつく交互通行も困難です。冬期間は、ゴミ収集車も町道をのぼれず、県道までゴミを運び出している状況です。安全確保のためにも町道の拡幅整備をお願いします。

全員賛成



「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願

◆請願者 農民運動山形県連合会
会長 小林 茂樹

◆紹介議員 遠藤 宏司

◆請願要旨 米価が生産費を大きく下回る水準に急落し、生産者や流通業者の経営も立ちいかない状況です。農業者の経営を下支えする政策を確立することが必要とされます。農業者戸別所得補償制度を復活させて下さい。

全員賛成



「経営所得安定対策」の拡充を求める意見書を提出

◆意見書要旨◆

全員賛成



これまで「農業者戸別所得補償制度」で多くの稲作農家の生産と農村を支えてきました。平成26年度からは「経営所得安定対策」に切り替わり、米価については交付金を引き下げられ、平成30年産米から廃止されようとしています。

稲作農家を下支えする政策の確立が必要なため、「経営所得安定対策」の拡充を求めるよう強く要望します。

提出先

内閣総理大臣
農林水産大臣
衆議院議長
参議院議長

広報モニターを募集します！

「おいしいだ議会だより」の企画・編集等について、広く町民から意見や要望をお聞きし、より良い「議会だより」になるように広報モニターを募集します。

※人数 若干名（18歳以上の町民）

※任期 1年間（再任可）

※報酬 無報酬（ボランティアをお願いします）

※主な仕事 年4回「おいしいだ議会だより」を読んでのご意見感想をお聞かせください。（文書又はメールなどでの提出）

やってみたい方、興味のある方は議会事務局までご連絡をお願いします。

大石田町役場内 電話0237-35-2111（内線312） E-Mail: gikai@town.oishida.yamagata.jp



芭蕉の足跡・大石田の資料もたくさん

来年の芭蕉サミットへ

岐阜県「大垣市」6月27日

松尾芭蕉との縁で物産交流をしている大垣市を訪れた。「奥の細道むすびの地記念館」は中心街地の活性化や、観光の誘発に向けて平成24年に整備された。常設展示室では、紀行文「奥の細道」を映像で体験できるなど充実した施設だった。5年間で120万人の観光客が来館している。

来年は、大石田町で「全国芭蕉サミット」が開催される。交流センター「虹のプラザ」を核とした町の一層の活性化・交流人口の拡大に取り組んでいかなければと感じた研修であった。

【記 関】

交流センターの運用は？

愛知県知多郡「阿久比町」6月29日

考えさせられたのは、庁舎と交流センター併設工事で47億3千万円ということ。当町は、交流センターだけで30億円かかっている。

阿久比町の「アグピアホール」は全面フラットを基本としたホールであり、400席ある可動式の椅子は、災害時には収納され避難所となる。

施設のコンセプトは、当町の「虹のプラザ」とは少し違っていたが、機能的なホールとなっていた。照明機材の運用や利用料金など当町の参考になればと学んできた。

【記 齋藤】



収納可能な椅子で説明を受ける

昨シーズンを振り返って

平成28年度から大石田町との協働事業として「大石田町除雪支援事業」を受託しました。

町からは、大石田小学校区の通学路の歩道除雪の依頼を受け、小型除雪機による初めての通学路除雪を実施しました。児童の安全な登下校を確保できたことで、多くの関係者から喜んでいただきました。

昨シーズンは1回のみの歩道除雪でしたが、今後も町の依頼により、安全な通学路確保をめざし協力していきます。

除雪依頼も、高齢化世帯が増大する中でピーターも増えています。冬期間の町民の快適な生活空間確保のため、邁進していきます。

NPO法人

「まちづくり大石田」

代表理事 齋藤 忠雄

追跡 あれはどうなった！

冬の通学路の安全確保

これまで町内の通学路は、冬期間の降雪により歩道幅が狭く除雪困難な状況だった。通学路の安全確保をどうするのか。幾度となく議会の話題になっていた。ようやく町は、平成28年12月議会においてNPO法人と連携し早急に対応したいと答えた。

状況を検証してみるとNPO法人の協力を得ながら、大石田小学校から役場前の歩道、いこいの家の前の道路など狭くなった通学路の除雪を行った。速やかな対応により、今年は歩道幅が確保され、子どもたちは安全に通学できた。

来年以降も、冬期間の幅員が狭くなる歩道について、順次対応してもらえんことを期待する。

グラフィックデザイナーに学ぶ

山形県町村議会広報研修会(5/26)



やる気満々！ 今年も最前列

第34回町村議会広報研修会が山形市の国際交流プラザ・ビッグウイングで開催された。県内町村の議会だより担当者が集まる中、我々広報委員会も例年どおり参加した。

講師に昨年同様グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を迎え、「読まれる議会だよりの編集と表現」について学んだ。

クリニックでは、昨年と比較して改善された部分やレイアウトをアドバイスしていただいた。当町の議会だよりは非常に高く評価されたが、向上心を持って編集しなければならぬと感じる研修会であった。

【記 村形】

第2回 臨時会 5/10

町民交流センター建築工事 請負契約の一部変更

- ・平成29年度大石田町一般会計補正予算(第1回)の専決処分の承認について
- ・平成29年度大石田町国民健康保険特別会計補正予算(第1回)
- ・小型除雪車の取得について ほか

第3回 臨時会 6/16

町民交流センター 管理用備品等の取得

- ・町民交流センター管理用備品の取得
- ・町民交流センター舞台照明等備品の取得
- ・消防団消防ポンプ自動車の取得